

ハンセン病問題に関する シンポジウム

入場
無料

人権フォーラム2015 in 熊本

沖縄の子どもたちが演ずる感動作



演劇「光りの扉を開けて」
沖縄からのメッセージ

エイズの
こと
ハンセン病
のこと

共に生きる
ということ

2015
1/31(土)

開場：13:00 / 開演：13:30~16:45

熊本テルサ [テルサホール]

熊本県熊本市中央区水前寺公園28-51

TEL (096-387-7777)

- 予約不要、どなたでも入場できます。
- 団体での入場はお問い合わせ下さい。



●主催

厚生労働省、法務省、熊本県、熊本市、合志市、全国人権擁護委員連合会

●共催

国立療養所菊池恵楓園、菊池恵楓園入所者自治会、熊本地方法務局、熊本県人権擁護委員連合会、
全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会、
ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会、HIV人権ネットワーク沖縄、日本科学技術振興財団

●後援

文部科学省、熊本県教育委員会、沖縄県教育委員会、熊本市教育委員会、合志市教育委員会、那覇市教育委員会、
熊本県私立中学高等学校協会、熊本県専修学校各種学校連合会、
朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、NHK、熊本日日新聞社、西日本新聞社、
RKK熊本放送、TKUテレビ熊本、KKTくまもと県民テレビ、KAB熊本朝日放送、エフエム熊本、
日本皮膚科学会、日本ハンセン病学会、ハンセン病市民学会、エイズ予防財団

●お問い合わせ [ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局]

(株)アドルム 〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘7-24 メールアドレス: jimukyoku1@adroom.co.jp
TEL : 096-369-8494 FAX : 096-367-3439 ※平日9:00~17:00 (12:00~13:00を除く)

人権フォーラム2015 in 熊本

ハンセン病問題に関するシンポジウム

■ 目的

ハンセン病やエイズなどに対する正しい理解を、シンポジウムや演劇を通して深め、ハンセン病回復者やエイズ患者、HIV感染者などに対する差別や偏見をなくし、全ての人が「共に生きる」ための、より良い社会づくりに貢献することを目的とします。

■ プログラム

司会 / 熊本県立第一高等学校 放送部

■ オープニング

・合唱 / 熊本県立第一高等学校 合唱団

■ 主催者代表あいさつ

・厚生労働省 / 熊本県 / 熊本市 / 合志市

■ シンポジウム

・コーディネーター / 遠藤 隆久 (熊本学園大学教授)
・パネリスト / 志村 康 (国立療養所菊池恵楓園入所者自治会長)
中 修一 (国立療養所菊池恵楓園退所者)
木庭 駿 (熊本高等専門学校 熊本キャンパス 1年)

■ 演劇

・「光りの扉を開けて」 / 沖縄の子どもたちが演ずる感動作



■ フィナーレ

・ご当地ゆるキャラたちとの大合唱 / 「世界に一つだけの花」
出席された皆様も一緒に歌ってプログラムを盛り上げましょう!
おなじみのあのご当地ゆるキャラも登場?!

■ 前回来場者の声 (来場されたお客様からたくさんの感動の声が寄せられました。)

2013年2月に開催された「人権フォーラム2013 in 鹿児島」

● シンポジウムでの元患者のことは、演劇・・・
どちらも涙がとまりませんでした。これからも多くの
人がハンセン病、HIV、その他の人権問題について考え
ていかなければならないと感じました。

(25歳・女性)

● とても素晴らしい内容だったと思います。
演劇をみていて自分自身のありかたを考えさせられま
した。

(50歳・女性)

● シンポジウムの、そして子どもたちの演技に感動しま
した! 若い世代が差別や偏見について考え、行動して
いることを心に強く感じ、自分自身の考えや行動を振
り返る良いきっかけになりました。

(33歳・女性)

● 演劇に感動しました。多くの県民に見てもらいたい。
心洗われるようだった。

(64歳・男性)